

【リデュース】（軽量化・薄肉化）

①一本当たりの重量変化

2013年実績として、基準年（2004年）対比で1本当たり1.7%の軽量化がはかられた。

1本当たりの単純平均重量は基準年（2004年）の192.3gに対し、2013年実績は180.5gと6.1%（11.8g/本）の軽量化がはかられたが、これにはびん容量構成比の変化が含まれているため、その要素を除いたネットの軽量化率は1.7%（3.3g/本の軽量化）となった。【表1】

残りの4.4%（8.5g/本）はびん容量構成比の変化によるものである。

なお、基準年（2004年）対比での軽量化による資源節約量は、2008年～2013年（6年間）で、132,248トン（100mlドリンク剤びん換算 12億8525万本）となった。

【表1】1本当たりの平均重量推移

	2004年 (基準年)	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
生産本数(千本)	7,262,950	6,846,912	6,653,700	6,771,964	6,875,461	6,610,045	6,839,754
生産重量(トン)	1,396,582	1,266,242	1,213,075	1,222,525	1,230,174	1,182,952	1,180,180
単純平均重量 (g/本)	192.3	184.9	182.3	180.5	178.9	179.0	180.5
ネット軽量化率指標 (加重平均)	100.0	98.6	98.2	98.3	98.0	97.9	98.3
軽量化による 資源節約量(トン)	—	17,979	22,236	21,142	25,106	25,375	20,410

②軽量化実績

2013年に新たに軽量化された商品は、8品種18品目であり、軽量化重量は721トンであった。

2006年から2013年までに軽量化された商品は、11品種163品目となった。【表2】

なお、軽量化実績の捉え方は、前年と同容量で軽量化された品目について限定しており、容量変更が伴う場合や、新製品の軽量びんは対象外としている。

【表2】2006年から2013年までに軽量化された品目

品 種	のべ品目数
小びんドリンク	小びんドリンク（6品目）
薬びん	細口びん（1品目）、広口びん（1品目）
食料品びん	コーヒー（15品目）、ジャム（7品目）、粉末クリーム（2品目）、蜂蜜（1品目）、食用油（1品目）、食品（5品目）
調味料びん	たれ（7品目）、酢（13品目）、ソース（1品目）、新みりん（1品目）、醤油（2品目）、つゆ（2品目） 調味料（10品目）、ドレッシング（7品目）
牛乳びん	牛乳（5品目）
清酒びん	清酒中小びん（25品目）
ビールびん	ビール（3品目）
ウイスキーびん	ウイスキー（5品目）
焼酎びん	焼酎（10品目）
その他洋雑酒びん	ワイン（15品目）、その他（2品目）
飲料びん	飲料ドリンク（4品目）、飲料水（1品目）、炭酸（3品目） ジュース（6品目）、ラムネ（1品目）、シロップ（1品目）